

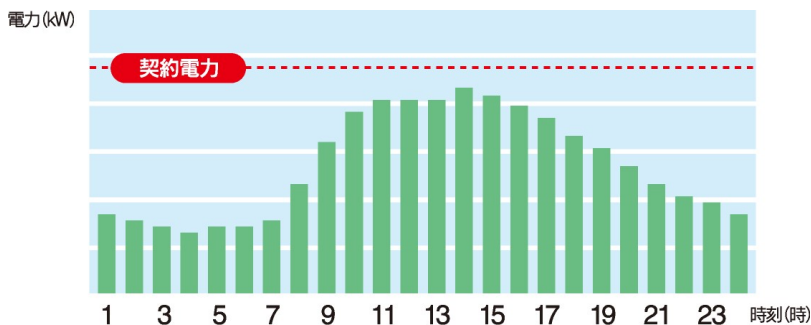
電力のデマンドを監視し、ピークのカット対策を行っていますか？

デマンドコントローラーは、最大需要電力※があらかじめ設定した目標電力を超過しそうな場合、警報を発生して安全上支障のない負荷を一時的に遮断・制御し、目標電力内に抑えるよう制御する装置です。

目標電力は、現在の契約電力以下に設定するのが一般的です。また、有効活用することにより契約電力を下げることもできます。

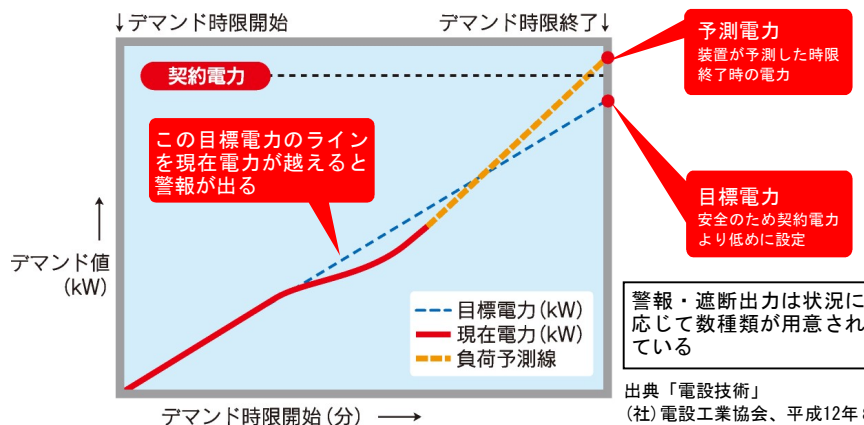
対策例

使用電力日負荷パターンモデル



デマンドコントローラー

電力量計からの計量パルスをカウントして使用電力を測定します。その測定値をもとに、装置内部の演算によって時限終了時の使用電力を予測し、ユーザーが装置に設定した目標電力の値と比較して、使いすぎが予測される場合に警報や負荷遮断、負荷制御信号を出します。装置の基本動作を下図に示します。



出典「電設技術」  
(社)電設工業協会、平成12年8月号

効果例

	契約電力	
	1,000kW	500kW
削減金額	約2,190千円/年	約1,090千円/年

[試算条件]

- ・デマンド監視により契約電力を10%低減できた場合
- ・建物種別：工場
- ・電力契約種別：産業用電力A (6kV)
- ・削減金額(税込み)は、燃料費等調整額を含みません。

※最大需要電力：最大需要電力とは、需用電力の最大値であって、30分最大需要電力計により計量



システム導入のポイント

遮断する負荷は重大な影響を及ぼさない範囲に限られたものにする必要があります。

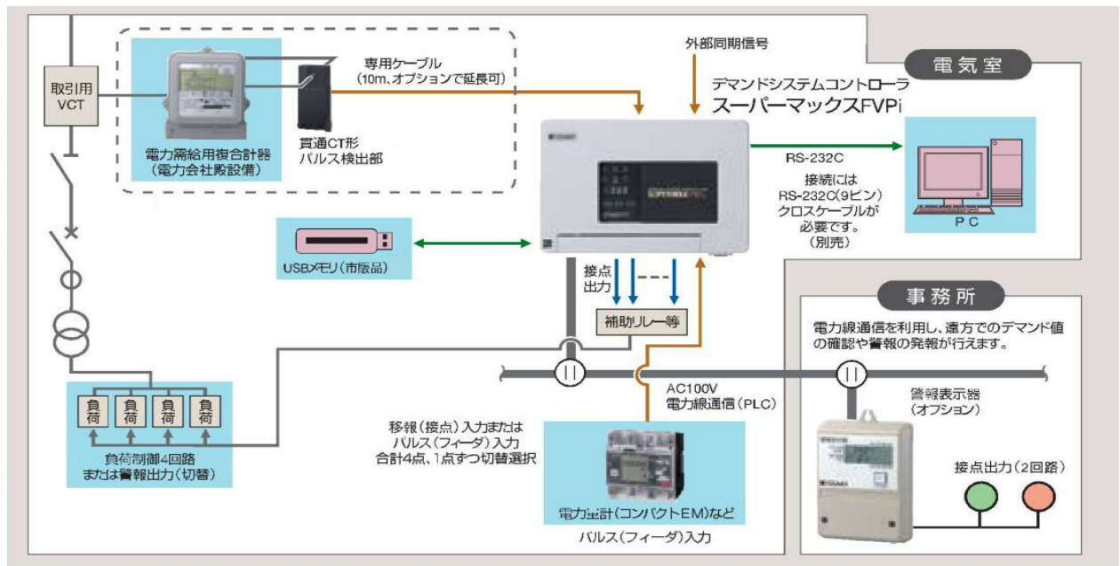
参考資料

(九電テクノシステムズ株式会社 スーパーマックスFVPi)



システム展開が容易な、小型・軽量・低価格オールインタイプ

◆システム構成図



(出典) 九電テクノシステムズ株式会社 商品パンフレット